

2015（平成27）年度 中小企業・経営研究所報

2015.4.1～2016.3.31

- I. 運営委員会の開催
- II. 研究所員会の開催
- III. 「自己点検・自己評価（年次報告書）」等への取り組み
- IV. 補助金の獲得
- V. 研究活動
- VI. 『中小研フォーラム』の開催
- VII. 国際学术交流への取り組み
- VIII. 資料活動
- IX. 刊行物
- X. 対外活動
- XI. 研究所人事
- XII. その他

I. 運営委員会の開催

2014年度

第6回 2015（平成27）年4月24日（金）11：48～11：52

議 題 I. 審議事項

1. 『経営経済』第51号編集企画（案）

II. 報告事項

1. 事務連絡等

2015年度

第1回 2015（平成27）年6月5日（金）11：31～11：52

議 題 I. 審議事項

1. 2016～2017年度共同研究および個人研究の募集について

2. 漢陽大学校経済研究所との第12回共同研究発表会について

II. 報告事項

1. 中小研セミナー開催について

2. 事務連絡等

第2回 2015（平成27）年7月17日（金）11：30～12：03

議 題 I. 審議事項

1. 中小企業・経営研究所規程他の改定について

II. 報告事項

1. 第3回中小研セミナーについて

2. 事務連絡等

第3回 2015（平成27）年9月25日（金）11：30～11：49

議 題 I. 審議事項

1. 2016～2017年度共同研究について

2. 漢陽大学校経済研究所との第12回共同研究発表会について

II. 報告事項

1. 事務連絡等

第4回 2015（平成27）年10月29日（木）16：10～16：40

議 題 I. 審議事項

1. 2016年度研究所予算について

II. 報告事項

1. 事務連絡等

第5回 2016（平成28）年2月12日（金）11：30～12：30

議 題 I. 審議事項

1. 中小企業・経営研究所規程他の改定について

2. 2016年度中小研共同研究費配分案について

II. 報告事項

1. 2016年度研究所予算について

2. 事務連絡等

II. 研究所員会の開催

2016年3月30日（水）13：33～15：44

I. 共同研究各グループの2015年度活動報告

II. 第1回所員会

議 題 1. 中小研共同研究費2016年度予算配分について

2. その他事務連絡

III. 「自己点検・自己評価（年次報告書）」等への取り組み

中小企業・経営研究所 自己点検・自己評価委員会

「自己点検・自己評価 目標設定・進捗状況報告シート（2014～2016年度）」による自己点検・

自己評価を行う。

IV. 補助金の獲得

2015（平成27）年度も以下のように補助金を得た。

- ・ 研究所費：「私立大学校等経常費補助金特別補助 IV. 大学院等の機能の高度化への支援 2. 研究施設運営支援」（日本私立学校振興・共済事業団へ提出）

申請額：30,554千円

補助金額：14,731千円

V. 研究活動

【A. 共同研究－2014（平成26）～2015（平成27）年度】

1. 『東・東南アジアにおける基盤技術産業のダイナミズム

－ ASEAN と日本の自動車関連部品・金型を中心に－』グループ

(1) 研究組織・研究課題

- ・ 研究代表者 山本俊一郎（経済学部教授）

「基盤技術産業の集積地域が有する競争優位性の変容」

- ・ 研究分担者

藤本 寿良（情報社会学部教授）

「グローバル化の進展による金型製品市場の変化」

高松 亨（情報社会学部教授）「市場拡大にともなう金型生産技術の変容」

遠原 智文（経営学部准教授）

「海外進出にともなう自動車部品製造企業の現状と課題」

斉藤 栄司（本学名誉教授）「金型産業及び部品産業の日本、中国、タイほか地域の実態比較研究－自動車産業関連を中心に－」

朴 泰勲（大阪市立大学大学院創造都市研究科教授）

「自動車部品企業のグローバル調達ネットワーク形成に関する研究」

江頭 寛昭（神戸学院大学経営学部教授）「東・東南アジアにおける金型生産をめぐる企業間関係と自動車分野への参入状況に関する比較研究」

平井 拓己（プール学院大学短期大学部准教授）

「金型産業における海外企業との提携及びその支援策に関する研究」

(2) 共同研究費配分額

2014年度：1,650千円

2015年度：1,450千円

2. 『アジアにおける産業集積のネットワークに関する研究』グループ

(1) 研究組織・研究課題

- ・研究代表者 宋 仁守 (経済学部准教授)

「産業集積に関する先行研究の追跡 産業集積の国際的立地に関する理論」

- ・研究分担者

細川 大輔 (経済学部教授) 「ASEAN・中国を縦・横断する産業集積」

吉田建一郎 (経済学部准教授) 「台湾の産業集積と中国大陸への拡張」

藤井 大輔 (経済学部講師) 「中国における産業集積の新動態」

山本 恒人 (本学名誉教授) 「産業集積と地域経済社会の発展」

松岡 憲司 (龍谷大学経済学部教授)

「アジアにおけるサポーティング・インダストリーのネットワーク」

藤川 清史 (名古屋大学大学院国際開発研究科教授)

「産業集積と環境負荷に関する実証研究」

(2) 共同研究費配分額

2014年度：1,500千円

2015年度：1,450千円

3. 『グローバル化の中での地域復興』グループ

(1) 研究組織・研究課題

- ・研究代表者 伊藤 大一 (経済学部准教授)

「グローバル化の中での雇用問題」

- ・研究分担者

伊藤 裕人 (経営学部教授) 「グローバル化の中での地域と企業・起業家」

後藤 一郎 (経営学部教授) 「グローバル化の中での流通問題」

重光 美恵 (経済学部准教授) 「グローバル化の中での人材流動」

森川 滋 (本学名誉教授)

「グローバル化の中での産業立地の再編と地域経済」

阿部 聖 (愛知大学地域政策学部教授)

「グローバル化の中での地域企業」

田中 幹大 (立命館大学経営学部准教授)

「グローバル化の中での産業集積」

(2) 共同研究費配分額

2014年度：1,100千円

2015年度：1,350千円

4. 『アントレプレナーシップ研究』グループ

(1) 研究組織・研究課題

- ・研究代表者 江島 由裕（経営学部教授）

「企業家的戦略志向性 (Entrepreneurial Orientation: EO) と小規模企業の生存・成長の関係性に関わる研究」

- ・研究分担者

吉野 忠男（経営学部教授）「スタート・アップ期における起業家活動とイノベーション－その成長・発展要因の研究－」

足代 訓史（経営学部講師）「ICT 業界における企業家的な戦略転換及びビジネスモデル革新のメカニズムに関する研究」

河本 光弘（札幌国際大学観光学部准教授）

「観光事業における起業及びその要因の調査、分析」

Brian S. Anderson (Assistant Professor University of Colorado) 「The antecedents, consequences, and ontological, assumptions underlying entrepreneurial orientation.」

(2) 共同研究費配分額

2014年度：1,400千円

2015年度：1,400千円

5. 『グローバル時代における日本企業のマネジメント戦略と政策支援に関する研究－アジアを中心にして－』グループ

(1) 研究組織・研究課題

- ・研究代表者 太田 一樹（経営学部教授）

「日本企業のマーケティング戦略」

- ・研究分担者

井形 浩治（経営学部教授）

「日本企業のガバナンス戦略－欧米企業の比較のもとで」

田中 健吾（経営学部教授）「海外駐在企業従業員のストレスと人材育成」

越村惣次郎（大阪府商工労働部大阪産業経済リサーチセンター主任研究員）

「中小企業の国際化支援のための政策の現状と課題」

(2) 共同研究費配分額

2014年度：1,350千円

2015年度：1,350千円

【B. 個人研究－2014（平成26）～2015（平成27）年度】

今期間の該当者なし

Ⅵ. 『中小研フォーラム』の開催

今回はなし

Ⅶ. 国際学術交流への取り組み**(1) 漢陽大学校経済研究所との学術交流協定に基づく交換研究者の派遣**

・受入研究者：なし

・派遣研究者：なし

(2) 第12回 中小企業・経営研究所と漢陽大学校経済研究所との共同研究発表会

当研究所と漢陽大学校経済研究所（韓国・ソウル特別市）との間で1998年12月に学術交流協定が締結され、以来毎年、相互の研究者の派遣・受入を行っている。2004年度からは、相互の研究者の研究成果を発表する場としての「共同研究発表会」を開催することになった。その基本課題を「日本、韓国、中国に係わる経済・経営問題、即ち東アジア経済圏の経済、経営活動」について研究・議論を深めることにしている。そこから共同研究が始まることを期待しての交流会である。

第1回（2004年）、第3回（2006年）、第5回（2008年）、第7回（2010年）、第9回（2012年）、第11回（2014年）は漢陽大学校にて、第2回（2005年）、第4回（2007年）、第6回（2009年）、第8回（2011年）、第10回（2013年）は本学にて開催した。今回第12回目は、本学にて「明日のアジア経済とビジネス戦略」というテーマで2015年11月6日（金）に開催した。報告、コメント等は全て英語で行い、盛会のうちに終了した。

この共同研究発表会は、今後も開催校を、漢陽大学校、本学と交互に交替しながら毎年継続していく計画である。

なお、今回の報告内容の一部は、当研究所の刊行物『Small Business Monograph』に掲載した。

「明日のアジア経済とビジネス戦略」

“Asian Economy and Business Strategy in the Next Stage”

日 時：2015年11月6日（金）13：00～17：00

場 所：大阪経済大学 E 館 7 階 第 1 会議室

【スケジュール】

開会の挨拶

徳永 光俊（大阪経済大学学長）

Park, Daekeun（漢陽大学校経済研究所長）

第1セッション

司会者：藤本 寿良（本学情報社会学部教授／当研究所研究員）

第1報告

テーマ：“The Funding for Lending Scheme as the Bank of England’s incentive to boost lending”

報告者：斉藤 美彦（本学経済学部教授）

コメンテータ：春井 久志（関西学院大学名誉教授）

第2報告

テーマ：“Spillover Effects across Credit Spreads in Korean Bond Market”

報告者：Lee, Hangyong（漢陽大学校経済金融大学准教授）

コメンテータ：山口 雅生（本学経済学部准教授）

第2セッション

司会者：山口 雅生（本学経済学部准教授）

第3報告

テーマ：“Innovation and Internationalization of Food Processing SMEs”

報告者：張 又心 Barbara（本学経営学部講師）

コメンテータ：関 智宏（同志社大学商学部准教授）

第4報告

テーマ：“Revenue Stabilization for Hydroelectric Power Generation Using Rainfall Derivatives”

報告者：Yun, Won-Cheol（漢陽大学校経済金融大学教授）

コメンテータ：平井 拓己（プール学院大学短期大学部准教授／当研究所特別研究員）

閉会の挨拶

太田 一樹（本学中小企業・経営研究所長）

Park, Daekeun（漢陽大学校経済研究所長）

(3) 復旦大学日本研究センターとの交流

なし

VIII. 資料活動

1. 資料収集の状況とその利用

(1) 資料収集の特徴

当所が収集する文献は、概ね次の3種類に大別することができる。

・内外の中小企業に関する文献

- ・企業分析資料－会社史・経済団体史，有価証券報告書等
- ・白書，統計書

(2) 利用状況

現在は利用統計の集計は行っていないため，数量的には把握できないが，利用対象者は学内教員，学生，並びに学外者（中小企業研究者，学生，行政機関関係者，経済団体職員，企業関係者等）であった。

(3) 年間受入数

- ・図書，資料，年報 和 2,351冊，洋 78冊
- ・雑誌 和 463タイトル 洋 31タイトル
- ・有価証券報告書 ・eol データベース

（インターネット経由のアクセスと，各年度末に納品されるCD-ROM版から構成されている。上場企業有価証券報告書・非上場有価証券報告書・新規公開目論見書・企業基本情報等所収）

*ただし過年度のものは，昭和35年度から冊子版，マイクロ・フィッシュ版，CD-ROM版で保存している。

2. 二次文献の作成

(1) 中小企業関係で継続刊行中の二次文献の作成

- ・「解説および書評」『中小企業季報』（大阪経済大学中小企業・経営研究所）2015 No. 1～4
- ・「中小企業に関する文献目録」『中小企業季報』（大阪経済大学中小企業・経営研究所）2015 No. 1～4

Ⅸ. 刊行物

1. 『経営経済』第51号 2016（平成28）年1月30日

北村 實 「ビル賃貸借契約に関する研究－「交渉と成立」の裁判規範」

栗城 利明 「中小企業の新規参入と独占行為規制

－ JASRAC 事件最高裁判決を手掛かりに－」

河上 高廣 「特定商業集積法に関する時間を隔てた再評価

～事例調査や当時の支援担当者としての意見をまとめた再評価～」

遠原 智文，三島 重顕，前田 卓雄 「中小企業診断士の現状と課題」

第3回中小研セミナー（2015年10月10日）

（基調講演） 竹原 信夫 「がんばる大阪の中小企業！大阪の魅力とパワー」

（調査研究報告） 北出 芳久 「大阪の地域ブランド戦略のあり方」

（調査研究報告） 越村惣次郎 「海外市場で現地化に取り組む中小企業」

（調査研究報告） 福井 紳也「アジアにおける都市大阪の魅力」

共同研究調査概要報告（2014年度）

山本俊一郎, 江頭 寛昭, 平井 拓己（『東・東南アジアにおける基盤技術産業のダイナミズム－ASEANと日本の自動車関連部品・金型を中心に－』グループ）「金型部品の生産システムと地域ブランドに関する調査報告」

宋 仁守, 吉田建一郎, 藤井 大輔, 松岡 憲司（『アジアにおける産業集積のネットワークに関する研究』グループ）「チャイナ・プラス1, タイ・プラス1としてのラオス進出日系企業調査」

伊藤 大一（『グローバリゼーションの中での地域復興』グループ）「グローバリゼーションの中での地域復興」調査報告

江島 由裕, 吉野 忠男, 足代 訓史（『アントレプレナーシップ研究』グループ）「アントレプレナーシップ研究」グループ調査報告

太田 一樹, 井形 浩治, 田中 健吾, 越村惣次郎（『グローバル時代における日本企業のマネジメント戦略と政策支援に関する研究－アジアを中心に－』グループ）「海外市場で現地化に取り組む中小企業の現状と課題～アンケート調査と現地調査を踏まえて～」

2014（平成26）年度中小企業・経営研究所報

2. 『中小企業季報』

・ 2015 No. 1 2015（平成27）年4月20日

Kan Viktoriya 「移行経済における起業家精神と経路依存性－中東欧諸国と旧ソ連諸国の比較分析－」

平賀 正剛 「中小企業版 IFRS に対する発展途上国の見解」

解説および書評・中小企業に関する文献目録

・ 2015 No. 2 2015（平成27）年7月20日

関 智宏 「産業クラスター生成時における協調関係の形成プロセス－タイ国からのインバウンド受入をねらう姫路観光産業クラスターのケース－」

黄 完晟 「中小企業の海外進出の類型化の一試論」

解説および書評・中小企業に関する文献目録

・ 2015 No. 3 2015（平成27）年10月20日

堀田友三郎 「成長する中小企業と経営倫理」

山本 聡 「中小企業の国際化プロセスにおける国際的アントレプレナーシップ－IEO, エフィカシイ, EMO, セレンディピティ, エフェクチュエーション－」

解説および書評・中小企業に関する文献目録

・ 2015 No. 4 2016（平成28）年1月20日

堀越 昌和 「地域中小企業の後継者人事管理－熊本県の中堅・中小企業を対象とし

たアンケート調査の結果から－」

梅村 仁 「地場産業の振興と自治体産業政策－高知県の手漉和紙事業所を事例として－」

川上 義明（短信）日本中小企業学会第35回全国大会記～統一論題「地域社会に果たす中小企業の役割－課題と展望－」～

太田 一樹（短信）「大阪経済大学中小企業・経営研究所と漢陽大学校経済研究所共催の第12回共同研究発表会」

解説および書評・中小企業に関する文献目録

3. 『Small Business Monograph』

・No. 20 2016（平成28）年3月

ISBR, Osaka University of Economics HERi, Hanyang University

“The 12th Joint Symposium Asian Economy and Business Strategy in the Next Stage”

Yoshihiko Saito

“The Funding for Lending Scheme as the Bank of England’s incentive to boost lending”

Barbara Cheung

“Innovation and Internationalization of Traditional Food Processing SMEs”

X. 対外活動

(1) 対外経済団体・関係機関への協力

1) 専門図書館協議会

2) 大阪府商工労働部との官学連携

XI. 研究所人事

所 長 太田 一樹

運営委員 藤井 大輔, 眞島 宏明, 大瀧 友織, 田島 良輝, 野田 勝子

研究所員

[経済学部] 細川 大輔, 宋 仁守, 山本俊一郎, 吉田建一郎, 伊藤 大一, 重光 美恵,
藤井 大輔

[経営学部] 伊藤 裕人, 後藤 一郎, 太田 一樹, 井形 浩治, 江島 由裕, 吉野 忠男,
田中 健吾, 遠原 智文, 足代 訓史

[情報社会学部] 藤本 寿良, 高松 亨

[特別研究所員] 斉藤 栄司（本学名誉教授）, 山本 恒人（本学名誉教授）, 松岡 憲
司（龍谷大学経済学部教授）, 藤川 清史（名古屋大学大学院国際開発

研究科教授), 阿部 聖 (愛知大学地域政策学部教授), 森川 滋 (本学名誉教授), 朴 泰勲 (大阪市立大学大学院創造都市研究科教授), 江頭 寛昭 (神戸学院大学経営学部教授), 平井 拓己 (プール学院大学短期大学部准教授), 田中 幹大 (立命館大学経営学部准教授) Brian S. Anderson (Assistant Professor University of Colorado), 河本 光弘 (札幌国際大学観光学部准教授), 越村惣次郎 (大阪府商工労働部大阪産業経済リサーチセンター主任研究員)

事務職員 野田 勝子, 門口 順子, 棟近有美子

準職員 宮地 詠子, 小笠原洋子

派遣職員 岡松沙和香

XII. その他

特記事項なし